

## 地域の力を結集し、バングラデシュの社会課題にビジネスで挑む

～宮崎県の(株)教育情報サービスが九州で唯一、ODA 事業に選定～

株式会社教育情報サービス（宮崎市：荻野次信社長、以下 KJS）は独立行政法人国際協力機構（以下 JICA）が実施する 2014 年度第 1 回中小企業海外展開支援事業～案件化調査～に選定されました。本事業は日本の中小企業の優れた技術や製品を途上国開発に活用する可能性を調査し、ODA 案件化を通じ途上国支援と中小企業の海外展開の両立を目指す事業です。今回は全国の中小企業から 176 件の提案があり、26 件が選定されました。九州からは KJS が唯一の選定企業となりました。今後、JICA との契約後、調査を実施します。

本事業では KJS が開発した ThinkBoard（動画コンテンツ制作ソフト）を使った情報処理技術者試験(ITEE)の受験対策 e ラーニングシステムを、対象国であるバングラデシュの大学や企業等で試用し効果を検証します。同試験は経済産業省が実施する IT 分野の国家試験で、JICA と独立行政法人情報処理推進機構（IPA）の技術協力により、2014 年 9 月にバングラデシュにも導入されました。これまでバングラデシュは IT 技術者の能力を評価する国家試験が存在しなかったため、IT 技術者が自ら目標を設定し専門性を高めることが難しい状況でした。同試験の導入はバングラデシュの社会課題解決の一つである IT 技術者の育成に大きく寄与します。KJS は民間セクターから同試験の普及を促進するために受験者の学習環境や学習法の整備に貢献します。

本事業は IT 教育に精通している NPO 法人みやざき教育支援協議会（宮崎市：亀澤克憲代表理事）と連携して実施されます。また、バングラデシュ国内にも支店網を有するインドステイト銀行と業務提携している株式会社宮崎銀行が現地の金融サービス等に関する助言・支援を行います。宮崎県の中小企業、NPO 法人、銀行が力を結集し、バングラデシュの社会課題にビジネスで挑戦します。

### 提案する製品

KJS の開発した ThinkBoard は説明を加えたいファイル（ワード、画像、PDF など）をパソコンの画面に表示させ、「音声」と「手書き描画」で解説を加えながら「声と手書きのコンテンツ」を簡単に制作することができる動画コンテンツ制作ソフトです。



制作した動画コンテンツは、容量が 10 分間の動画でも約 5MB と超軽量のため途上国の脆弱な通信環境でも対応可能。（一般的な動画形式では、10 分程度の動画で 100MB～500MB）

また、学習者の状況を把握する際に使われる「学習管理システム（Learning Management System）」を搭載。学習者が繰り返し見た箇所などを把握できるため、学習者の状況に合わせ、教材の改善ができます。

本件に関するお問い合わせ	会社概要
株式会社教育情報サービス 電話：0985-35-7851 email：info@e-kjs.jp 担当者：野崎 なおみ、三浦 裕二	【 会社名 】 株式会社教育情報サービス 【 代表者 】 荻野 次信 【 所在地 】 宮崎市橘通西 3 丁目 10-36 ニシムラビル 6F 【 U R L 】 <a href="http://www.e-kjs.jp/">http://www.e-kjs.jp/</a>